

# 行政視察報告書

令和6年 5月 27 日

長浜市議会議長 中川 勇 様

長浜市議会議員竹本直隆

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

## 記

1. 視察等名 令和6年度議会運営委員会行政視察研修
2. 視察期間 令和6年5月20日（月）～5月21日（火）
3. 視察場所及び目的
  - ①長野県伊那市役所  
議会改革の取組みについて
  - ②長野県駒ヶ根市役所  
議会改革の取組みについて
4. 調査内容感想等

### ・視察の目的

伊那市では「オンライン委員会」・「市民との意見交換会」・「政策サイクルの運用と市民サポーター制度」の導入・「請願、陳情の審査方法の見直し」・「小中高生の議会膨張」や「高校生との意見交換会」について

駒ヶ根市では「議会機能向上推進委員会」・「事業評価」・「議会基本条例の検証」・「子ども未来会議」・「女性議員の高比率」について

・視察内容

「オンライン委員会」についてはコロナ感染症蔓延により、オンライン会議を活用する動きが強まったことを受けて、一般質問の順番もオンラインで決定できるし、オンライン会議システムを使った一般質問の順番も承諾を得てできるなど、長浜市ではない取り組みもなされている。「市民との意見交換会」の中では一般市民だけではなく、土曜日や日曜日を使い中高生との意見交換や議会傍聴などもされている。「政策サイクルの運用と市民サポーター制度」については議会特別委員会を設置し、模擬議会、フリースピーチなどの機会を経て、サポーター制度を作成されたこと。「請願、陳情の審査方法の見直し」については、市民の皆様にも市に出向いてもらい、議員との交渉により、提出していただく。「小中高生の議会傍聴」については市議会選挙が無投票になったことを危惧し、小中高生に議会について興味を持ってもらうために議会傍聴や意見交換会を開催したことについて視察した。

「議会機能向上推進委員会」については ①議会基本条例に規定する事項の検証に関する事 ②議会機能向上に関する事③政策提言及び政策立案の推進に関する事となっており、専門的な協議・検討ができることを視察。

「事業評価」については取り組みされていて感じる課題や問題点を具体的に教えていただいた。

「議会基本条例の検証」については内容、及び今後強化されようとしていることについて視察した。

「子ども未来会議」（中学生会議）については次代を担う子どもたちが街づくりや議会への理解を深め、若い世代の視点で駒ヶ根市の街づくりについて考える機会を提供しようと開催され、その成果について研修したが、中学生には議会の仕組みやまちづくりの興味、議員の役割、地域への愛着などが強まり、理解と満足度も高かったが、市の職員、学校職員の負担が大きく、継続が困難との声もあった。

「女性議員の高比率」について全国平均18%に対して駒ヶ根市議会では33%と

高くなっている要因について研修をした。直接的な要因はわからないが「地方選挙における立候補者の女性割合」の数値を50%に設定したことや、女性議員の近隣3市議会との連携、勉強会などが成果を挙げているのではないかとのことでした。

・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

「オンライン委員会」については基本市役所内での委員会や会議は同じであるが事務的に解決できることについてはオンライン化の推進は参考になるし、一般質問順位も導入すべきと思う。また市議会例規にも細かく、丁寧に明記されていて、参考にして推進を図るべきと思う。

議会改革などの内容については長浜市議会と遜色はなく、長浜市の方が進んでいる感じは否めない。長浜市議会で取り組めていない議会改革内容や、参考となるべき市の選定もこれからは重要になってくると思う。